金沢大

鮮やかなガラス花器 クラフト広坂で木村さん

展示された作品に見入る来場者＝広坂1丁目の金沢・クラフト広坂

ガラス作家の木村珠里さん(39)＝富山県＝の作品展「30：1」（北國新聞社後援）は広坂1丁目の金沢・クラフト広坂で開かれており、オレンジやピンク、青など色鮮やかなガラス花器約30点が並んだ。

砕いて粉にしたガラスを再び練って形成する「パート・ド・ヴェール」の技法で作られた作品が来場者の関心を集めた。8月20日まで。

廃材の活用法考える クリエイティブラボ

廃棄される木材の活用法を考える参加者＝観音町

県内で廃材を活用した活動に取り組む団体「クリエイティブラボ・レフ」の「ごみっとサミットvol・1」（北國新聞社後援）は25日、観音町で開かれ、参加者が林業で廃棄される木材の活用法を考えた。木材流通業のフルタニランバー（湊1丁目）の古谷隆明社長がクマによる樹木被害などを説明。参加者は廃材を使った子ども向けのワークショップなどの意見を出した。

小学生が工作楽しむ 上中町・ふじのき寮

ランタン作りを楽しむ児童＝上中町のふじのき寮

障害者支援施設ふじのき寮（上中町）の「あそび工房」は25日、市内で開かれ、小学生約130人が工作を楽しんだ。

ふじのき寮、県自然史資料館、田上本町会館を会場に開かれた。地元の企業や工房が講師となり、児童は万華鏡作りや蜂蜜しぼりを体験した。ランタンを作った山口晴嵩君（朝霧台小3年）は「キャンプに持って行きたい」と笑顔を見せた。

北野恒富の日本画 切手に

金沢生まれ、2日発行

日本郵便が、魅力ある名作絵画などの美術品を題材に来月発行する特殊切手「美術の世界シリーズ」の第5集「白の世界」に、金沢生まれの日本画家・北野恒富（1880～1947）の「星」が採用される。明治から昭和にかけて活躍した郷土の作家に光が当たる。

北野は10代で大阪に出て木版彫師のもとで版下画を描き、のちに金沢出身の歌川派稲野年恒に師事。美人画に定評があり、大阪の院展の中心的人物となった。

北野恒富「星」の切手

「星」（大阪市立美術館蔵）は1939年に描かれ、都市に生きるモダンな女性の美しさを追求した作品。夏の夜空の深い青を背景に、女性の肌の白さや浴衣の白さが幻想的に浮かび上がっている。

8月2日発行の特殊切手「美術の世界シリーズ第5集」

長谷川久蔵「桜図」や国立工芸館所蔵品も

このほか、七尾出身の絵師長谷川等伯の子・長谷川久蔵の「桜図」や、国立工芸館が所蔵する初代宮川香山の陶磁器「鳩桜花図高浮彫花瓶」など国内外の10点が選ばれた。

切手はシール式で63円、84円の2種。8月2日から全国の郵便局、ネットショップなどで取り扱う。

きょうから「ちいさな

モズさん（祖

「憧れの2

展覧会への来場を呼び掛けるMozuこと水越さん＝金沢21世紀美術館

んは設営に合わせて会場を訪れ、作業の様子を見守った。祖母手作りのえびす（べろべろ）が大好物という新進気鋭のクリエーターは「憧れの金沢21世紀美術館に作品が並び、創作意欲が刺激された。多くの皆さんに、ものづくりの可能性が伝わればうれし

トイレを作り込んだ「こびとシリーズ」や、高校時代のモズさんが自身の部屋を再現した「自分の部屋」、絵が立体的に見える「トリックラクガキ」などが次々と並べられた。

先着250人に缶バッジ

初日は先着250人にオリジナル缶バッジが贈られる。8月26日までで、午前10時～午後6時。入場料は一般1300円、中高生900円、小学生700円で、未就学児は無料となる。

夜の感想を聞いた。2カ月後の移転開業を目指す新店舗では食を提供するダイニングを設けないとし、「食を目的に金沢を観光する人が増え、銀座の金沢がその知名度向上に一定の役割を果たした」と話した。

バド全国大会 児童健闘誓う 市役所訪問

全国大会での健闘を誓う児童＝市庁舎前広場

小学生バドミントンの全国大会に出場する児童22人が26日、市役所で東利裕文化スポーツ局長に健闘を誓った。

児童は28～31日に京都府で開催される若葉カップ、8月11～13日に香川県で行われるダイハツABCに出場。金沢ジュニアの田中咲羽さん（犀桜小6年）、shinshin男子の中孝太君（米丸小5年）、同女子の江波由桜さん（木曳野小6年）が「精いっぱい実力を出し切りたい」と意気込みを語った。

◆復職制度の創設に助成

市雇用対策連絡会は26日、市役所で開かれ、市側は今年度に育児などの理由で離職した従業員の復職制度を創設し、再雇用した中小企業を対象にした助成を始めたことを報告した。

助成額は1人当たり12万円（対象従業員は1事業主5人まで）で、再雇用後にリスキリング（学び直し）の研修を行った場合は助成額を1人3万円加算する。

◆女性活躍推進に理解

市のかなざわ女性活躍推進会議は26日、市役所で開かれ、同会議の参加事業者や市職員ら約70人が働きやすい職場づくりについて理解を深めた。北國銀行常務執行役員の横越亜紀人材開発部長が講演し、同行のデジタル化やヘルスケアの取り組みを説明した。

◆原爆のポスター展示

泉野図書館で26日、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」ポスター展が始まり、原爆の被害や戦時下の様子を伝える写真、絵、被爆者の声をつづったポスター23枚が展示された。8月14日まで。

◆松下氏に景仰の証

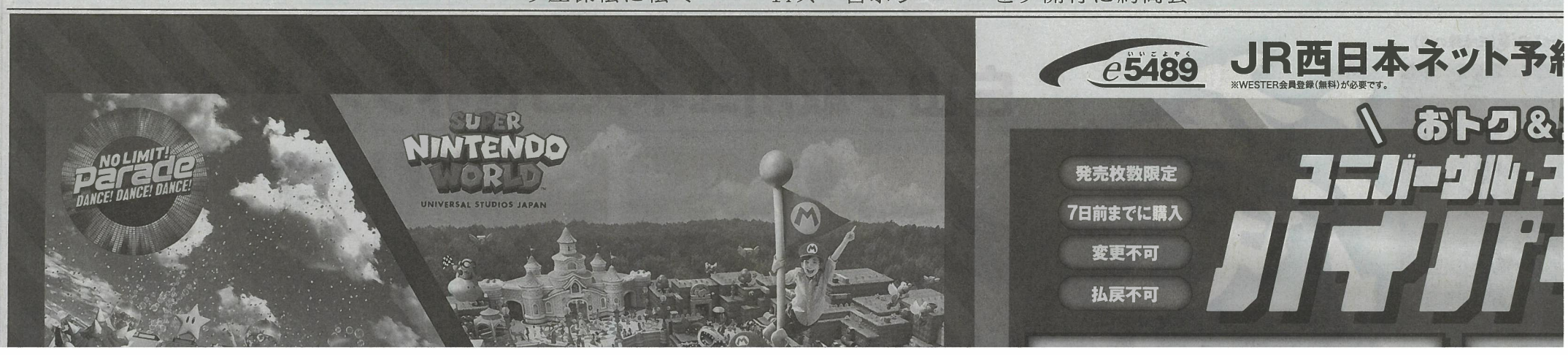
市は26日、25日に94歳で亡くなった市産業功労賞受賞者の松下良氏（北國風雪賞受賞者）に景仰の証を贈ると発表した。松下氏は1990年に加賀野菜保存懇話会を設立し、金沢の特産野菜を加賀野菜と名付け、ブランド化を推進した。

杉村瑠風ちゃん 長

八日市2丁目

（提供写真）

思い出作文 元気いっぱいすくすく大きくなってね。大好き。（親から）

大輔さん（40） 里子さ
会社員

みんなの「おいしい」がココにある！ どんたく 1歳おめで